上宝かわら版　2023年 4月版

飛騨上宝自然人倶楽部
HIDAKAMITAKARA　SHIZENJINCLUB

いよいよ上宝で「神性自然栽培農法」が始まります

石川県羽咋（はくい）市とＪＡはくいが共同して展開している自然栽培が上宝で実践されることになったのには、不思議なご縁のストーリーがあります。
羽咋市が変わったのは、リンゴの自然栽培を成功させた、木村秋則さんの講演からでした。
たった一人の成功者が今までの常識を変えます。
上宝に自然栽培を根付かせるのは、その木村さんに師事した廣 和仁さんという人物と、上宝に移住してくれたその実践部隊の青年達でしょう。

廣さんは、３月１９日に弊社本社（上宝森林組合建物）２階で、「神性農法」つまり「神のような愛の心を持つ人間が本来自ら生きる力を持った植物に対し、土壌の微生物と融合させて管理し育てる農法」の極意を解き明かしました。

除草剤もいらない　　農薬もいらない　　肥料もいらない
しかし愛の心を持った人間の関わりだけは欠かせない農法
これが「神性自然栽培農法」だというのです。

この農法によって育てられた野菜は、目が点になるほど美味しくて、体に良いのだそうです。この農法が、まずは上宝の宮原の旧富奥家の周りの畑で、廣さんにより実践指導されます。

よく誤解されるのが「自然農法」です。
雑草もあるがままの自然の土地に、種だけ蒔いて後は放置する農法ですが、これによって発生する様々な障害が周囲の健全な農地を妨害することによって非難されます。
しかし廣さんの「神性自然栽培農法」によれば、周囲に障害を与えることはありません。

論より証拠、関心のある方は是非４月から始まる栽培の実践を見物に来てください。
またすでに始まっている「神性農業塾」を見学に来てください。上宝の方々は無料です。

この農業実践を、現場で担当する人が上宝に移住した津川暢彰さんと得能憲治さんです。
この二人が廣さんの指導の下に、４月から上宝宮原でどのような農業実践をするか楽しみです。皆さんも見守って頂けたら有難いです。大いに質問して下さい。
そして５月と１１月には、某一流大学の学生も野外授業として参加する予定にもなっています。皆さん、上宝が面白くなってきてますよ！！　（金住）

移住して自然栽培に参加しています

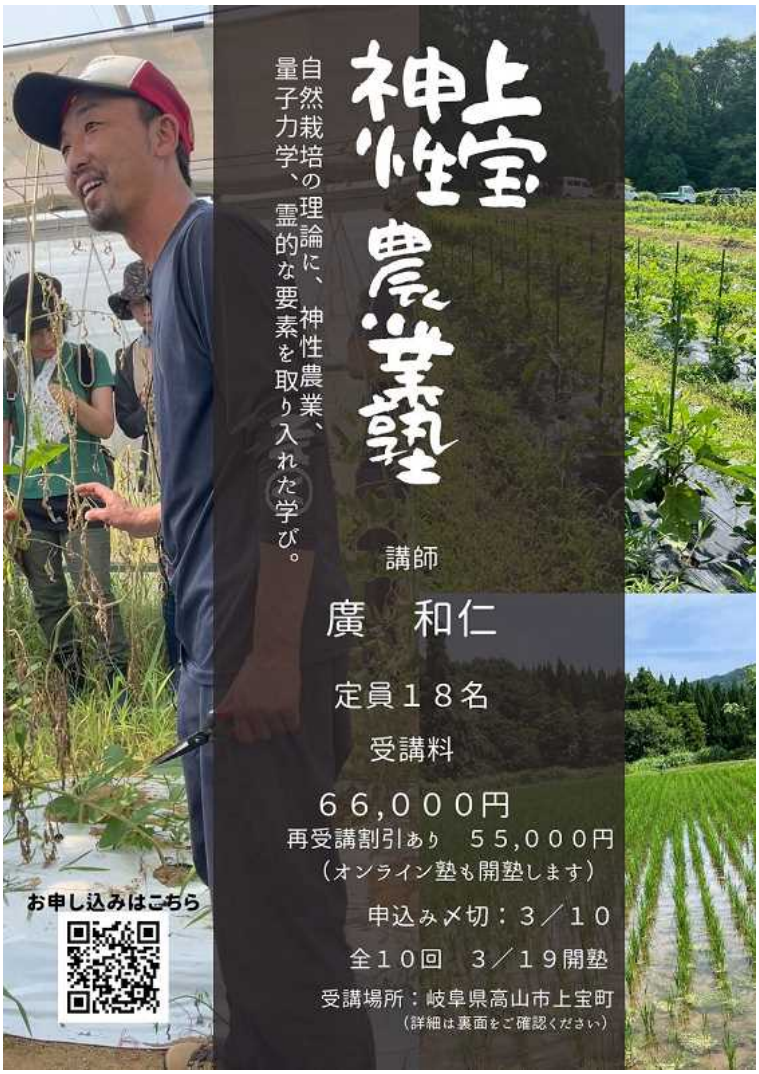
３月から上宝に移住しました得能憲治（とくの　けんじ）です。移住して１ヶ月ほど経ちますがいろいろな方にお目にかかれたり畑作業をしたりと楽しくさせて頂いております。
４月からは本郷に居住しております。
私は石川県七尾市出身の４５歳です。昨年までは東京でサラリーマンをしておりました。今まではデスクワークの仕事しかしたことがありません。農業をしたいと思い石川県に戻りましたが、ご縁があり上宝を訪れた際に、上宝の綺麗な空気と黒ボク土農業に適した環境、上宝の方々の温かい人柄に惚れ込み移住を決断致しました。上宝のことは知らないことが沢山ありますが、少しずつ学んでいきたいと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、上宝の一員になれるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。

★得能憲治さんは物静かな方ですが、どんな事も吸収しようという情熱溢れる青年です。ニコッと笑う笑顔が優しさそのものです。結構シャイなので皆さんからお声をかけていただけると嬉しいです。本郷東組の津田様の家を購入させて頂き４月中旬より居住しております。不慣れなことが多いですがどうぞ宜しくお願い致します　m(－－)m

上宝の皆様、この度郡上市から移住して参りました津川暢彰（つがわ　のぶあき）です。私は元プロフットサル選手の経験　がありますが、現在は農作業を行っております。
私が農業に関心を持ったきっかけは妻との妊活からです。都内の産婦人科の混雑さが子供ができずらい現状を物語っていました。気になった事はとことん調べたいという性格なので、様々な文献等を調べたところ原因は食であるという結論に至りました。農薬や化学肥料、遺伝子組み換え、ゲノム編集された種子など、人体への影響が隠された食材が平気で売られています。これらは私達の身近にありますが、ＴＶや新聞では知り得ません。自分自身や家族、大切な人を守るために一人一人が米や野菜を育て、自家採取を行うことが今を生きる術だと考えます。麦わら帽子にサングラスをかけ、いつもお米や野菜に向き合っております。
上宝で見かけることも多くなると思いますが、温かく見守っていただけたらと思います

★津川暢彰さんはサッカーやフットサル選手の経験があり、子供たちと一緒に遊べると思います。農業にも真剣に取り組み、上宝にも農業を通して早く溶け込みたいという気持ちでいっぱいです。現在は上宝に自分の家を探している状況です。麦わら帽子にサングラス、これが彼のトレードマークです。どうぞよろしくお願いいたします。　m(－－)m

上宝神性農業塾が始まっています！！



田んぼから畑へ！土壌改良用に植えた麦

土の温度を測るための掘り起こし作業

ーカリキュラムー

第４回と第１０回には某大学の学生が参加予定です

■第１回	３月１９日	自然栽培の基本的な考え方　オリエンテーション	終了
■第２回	４月　９日	自然栽培の基本的な考え方 水脈整備／ジャガイモ植付等	終了
■第３回	４月３０日	夏野菜の畑の準備 ／ 耕起 畝立て ／ マルチがけ等	
■第４回	５月２１日	夏野菜の栽培方法 ／ 苗の定植	
■第５回	６月１８日	夏野菜の栽培管理整枝 ／ 剪定	
■第６回	７月２３日	夏野菜の収穫 ／ 栽培管理	
■第７回	８月２０日	秋冬野菜の栽培について ／ 自家採種について	
■第８回	９月　３日	秋冬野菜の種まき ／ 栽培方法について	
■第９回	10月２１日	秋冬野菜の収穫 ／ 育苗用培養土の作成方法について	
■第10回	11月１２日	エ ンドウ類の栽培方法と種まき／果樹栽培／まとめ	

宮原の旧富奥家の裏に展開する上宝自然栽培農業。田んぼだった所を畑に改良し、既に２回の農業実習が行われています。上宝の土は非常に農業に適しており、今回の土の温度を計ってみても理解できました。農業塾は１１月まで続きますが、これをきっかけに農業従事する人が増えるといいなぁ、上宝移住の人が増えるといいなぁと思っています。

２０２３年　奥飛騨れんこんはどうなる？？

２０２２年のれんこん試練・・・初めての試練でしたが、そんなことに負けてはいられないのです！！ずっと迷惑をかけていた下のれんこん田んぼは、自然栽培の畑に改造しました。これで一つ心配事が減りました。そして上の田んぼは大幅な改造工事を行いました。前年の改造工事があまりにも酷く、取水も排水もうまくいかず、入れた土が浅かったことも原因なのか、出来たれんこんは小ぶりのものが多かったのでしたが、それでも味は良く、駿河屋さんには変わらず取引をさせていただき感謝です！！
今年は多くの方に協力していただき、早くから大幅な改造工事をしました。取水口も排水口も今までとは違い、しっかりと管理ができやすいものになりました。
黒土もたっぷり入れていただき、発酵乳酸菌堆肥（藤原堆肥）も鶏糞と牛糞のミックスをこれまたたっぷりと入れ、４月初めには代かきも終えて水をため始めました。
もうすぐ種蓮根を植え付けますが、良い蓮根ができますように！！！

下の田んぼは自然栽培用の畑に改造して土壌改良用にライ麦を蒔きました

代かきをした後、水を張っています。山の水はまだまだ冷たい

自然栽培用の農地を探しています

本格的に始まった上宝の自然栽培ですが、まだまだ農地が足りていないのが現状です。上宝は稀に見る土壌の良さなのだそうです。現在は宮原の旧富奥家の裏の畑と前の田んぼ、そして本郷の蓮根田んぼだった所です。皆さんが使っていらっしゃらない農地はありませんか？ご協力頂ける農地はありませんか？
自然栽培は、近隣に迷惑をかける農法ではありませんのでご安心下さい。
お声がけ頂ければお伺いして、状況を聞かせて頂きたいと思います。

連絡先 ☎ ０９０－３４０９－０１１３ 金住

今年はなんだかおかしな天候ですね。３月の始めには蕗の薹を食べたし、桜の開花も早かった。臥龍桜も４月８日にはほぼ満開。運良くさくらを連れて見に行ってきました。
荘川桜はどうでしょうか？今までは連休にやっと間に合うか？って感じでしたが、今年はもっと早いのかも・・・
私は３月始めに冬タイヤを履き替えましたが、早かったですね。
雪も少なかったけど、夏がうんと暑くなりそうで怖いです！
季節の変わり目、皆さん体調に気をつけてお過ごし下さいね。